

仮称

# 文化の森

準備だより ⑮

## ただいま準備中! part 3

今回も博物館開館に向けての展示準備を紹介します。交通や道をテーマにする常設展示の中で、今回紹介する「いかだ流し」は、中世から近世にかけての「水運」を特徴的に示すものです。

「いかだ流し」は、木曾・飛騨の材木をいかだに組んで下流に流す輸送手段であり、中流域のこの地域は、木曾川の「いかだ流し」において中継地点として重要な役割をになっています。今回の展示では、いかだそのものの復元を行い、体感的に理解できるようにする予定です。



▲いかだに使用するふじづる



▲いかだの組み立て



▲ふじづるで縛るところ

市民ミュージアム建設のため、現在いろいろな資料を収集しています。文化課（文化会館内／■内四〇八）まで情報をお寄せください。



▲綿かご

○台所道具など四点  
（三輪隆一さん／森山町）  
○綿かごなど十一件  
（坂井文次さん／蜂屋町）



▲柿の木割り器

○嫁入り道具の火鉢など十三点  
（古川佐光さん／太田町）  
○古文書など二点  
（朝日幸男さん／三和町）  
○蜂屋柿製造道具など三十一件  
（村瀬琴子さん／蜂屋町）

今回は、次の方から貴重な資料を寄贈いただきました。  
（平成十二年一月分）